

2012 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間とします (2012 年 4 月～2013 年 3 月)。

対 象 号 会誌 53 巻 5 号～54 巻 4 号、および年に 4 回発行される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 2012 年 2 月 24 日 (金) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

2012 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など) (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など) (i) 学生 (j) その他



【特集：われわれの知識を拡げるコラボレーション技術】

- 特集「われわれの知識を拡げるコラボレーション技術」の編集にあたって 由井蘭隆 他
- 拡散照明方式を用いたマルチタッチテーブルにおけるホバー操作の実現 坂本竜基 他
- Chatplexer：チャットを併用する口頭発表における発表者のための重要発言選択支援の試み 小林智也 他
- 仮想鏡を利用した遠隔 MR 作業支援 亀井銀河 他
- ライフログを活用した感性コミュニケーション実現方式の提案—実感を伴う情報伝達効果に関する検証— 望月理香 他
- ユーザの翻訳精度判定に対する既判定精度提示の影響 宮部真衣 他
- 板書の意識的な強調を利用した復習用コンテンツ自動生成システム* 井上亮文 他
- 講義資料閲覧ログを用いたプログラミング講義進捗管理手法の提案 堀口悟史 他
- ペアプログラミング学習における状態の推定—つまずきの解決の成功と失敗に見られる会話の違い— 平井佑樹 他
- 学生とティーチングアシスタント間でトラブル解決過程を共有できるプログラミング演習支援システム 安田 光 他
- Motion Adaptive Orientation Adjustment of a Virtual Teacher to Support Physical-Task Learning Mamoun I Nawahdah 他
- マルチエージェントクローラを用いた有害ユーザの効率的発見手法 中村健二 他
- 外出行動前のユーザへの情報提供を目的とした Web からのアドバンス文抽出 小澤俊介 他
- ファクターモデルによるインターネット株式掲示板の投稿と株式リターンの分析 諏訪博彦 他
- 業務従事者を対象とした PC 作業時の割り込み拒否度推定可能性の検討 田中貴紘 他
- 用例評価のモチベーション維持支援システム「用例の森」の開発と評価 狩野 翔 他
- 知識共有型レコメンドシステム“Knowledge Recommender”の提案と、ビル省エネ管理事業への適用 鳥羽美奈子 他

【特集：新たな展開を迎える ITS、モバイル通信とユビキタスコンピューティング】

- 特集「新たな展開を迎える ITS、モバイル通信とユビキタスコンピューティング」の編集にあたって 屋代智之
- 車々間通信のためのデータセントリックルーティング (DCR) の設計と評価 加藤隆志 他
- 路車間通信における同報・個別通信混在時の安定したサービス提供のための制御方式 服部有里子
- 協調的隊列走行に向けた車群通信のシミュレーション評価 大西亮吉 他
- CB-Flooding：緊急車両接近通知のための条件ベースフラッディング手法 原田 亮 他
- スペクトル拡散を用いた車載電子キーシステムの復調方式に関する検討 澤 良次 他
- GPS ドップラーと慣性センサの統合による車両軌跡推定手法の提案* 目黒淳一 他
- Predictive Lane Detection by Cooperating with Digital Road Map Chenhao Wang 他
- 車々間通信による運転支援システムの評価実験プラットフォーム (ARDS-Platform) の開発とその評価 Tran Hong Kien 他
- 任意のノード密度分布を実現可能な Waypoint モビリティモデルの提案* 上野瑛次郎 他

- Adaptive Approaches in Mobile Phone Based Traffic State Estimation with Low Penetration Rate Quang Minh Tran 他
- 特徴空間軌跡の追跡による動的な交通状況予測 熊谷正俊 他
- IEEE 802.11g を利用した高速移動通信におけるシームレスな TCP コネクション 山田和弘 他
- Piggyback Transport Protocol: Participatory Sensing における低消費電力なアップロードエンジン 山本享弘 他
- IMS-based Fast Session Handover with Available Network Resources Discovery of Access Networks Manabu Ito 他
- モバイルアドホックネットワークにおける ack-carry 方式を用いた情報配布手法 藤井俊充 他
- トリアージネットワークにおける ロバストな経路探索手法 田村寛樹 他
- 通信指向性の同期切り替えを行う階層型省電力無線センサネットワーク* 石原 進 他
- センサデータベースマネージャにおける問合せ処理とデータ圧縮の同時最適化 猿渡俊介 他
- アドホックネットワークにおけるゾーン重複のない複数経路構築手法の提案と評価 † 江藤 大他
- 混合自己回帰隠れマルコフモデルによる歩行者行動予測 浅原彰規 他
- 携帯電話を利用したプッシュ型の UD 観光音声ガイドの開発と評価 市川 尚 他
- 住宅におけるエネルギーマネジメントの効果を検証する実証的ホームシミュレータの提案と実装 岡田 崇 他
- オクルージョンを考慮したレーザー一点群抽出に基づく看板計測アプリケーション † 石渡要介 他

【一般論文】

- DNSSEC リソースレコードを用いたアドホックネットワークノード間公開鍵認証方式 鈴木茂哉 他
- 実環境下でユーザ状況を正確に把握するコンテキスト管理プラットフォーム* 篠原昌子 他
- 統計解剖学的モデルに基づく胸部 X 線 CT 画像からの肺病巣陰影の検出 石井茂如 他
- 患者固有の形状データに基づく手術手技訓練用シミュレータ 緒方正人 他
- 全体調和を考慮した音楽と配色間の共通印象を介したメディア変換 川野邊誠 他
- START 法を用いたトリアージ作業支援のための情報提示システムの提案 小嶋洋明 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、11月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「向谷倶楽部の挑戦」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■向谷氏の活動が、どのように役立っているか、具体的に記述されている。分かりやすい。(平林健二)

■巻頭コラムとしてはちょっと向かないと感じた。(南保英孝)

■明確な実現したいことに対して、今できることでどう工夫しようとしているかが語られていて、とても興味深く読むことができました。(米澤 恵)

特集「食とコンピューティング」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■「食とコンピューティング」のような面白いテーマは、小特集として今後も取り上げてほしい。(五味 弘)

■学際的な内容の特集であり、大変興味を持って読むことができました。(水野光朗)

■今回のテーマは、かなり「無理矢理だな」と感じた。これならまだ「放射線とコンピューティング」のようなテーマの方が、投稿する側も書きやすかったのではないかと思う。(平林健二)

■特集としてはとても興味があるが、その内容が専門的すぎて読んでみたいという気持ちになれなかった。内容をもっと縮小し、専門家以外の読者も読めるようなものにしてほしい。(森下 孟)

■技術でなく社会的な応用の分野で捉えた特集のテーマはとてもよかったです。各記事を見ていると、やはりニーズを捉えて技術で応えようとしているものと、どちらかという技術的興味が先行しているものがあるのを感じました。(米澤 恵)

シニアコラム「IT好き放題：学会は誰のものか」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■すでにいろいろ分析されているとは思いますが、以下の感想を持ちました。(1)ここ20年間毎年500名から700名が退会しているとありますが、退会する方々の年齢層、理由の分析と対策を考える必要があると思いました。このままの傾向ではジリ貧になります。(2)学会をより魅力的にするために、会員の属性(ペルソナ)を分析し、それぞれのペルソナに合う内容のイベント、学会誌作りなどが必要なのではと思います。(3)現

状の人員構成がどうなっているのかも知りたいものです。一般には、20年前と比較すると、学会の種類も増加していると考えられますので、人は分散するでしょうから、本会への入会者も普通に考えると減るのではと思いました。また、定年退職するとやはり学会も退会するだろうと思います。少子高齢化の世界で、退会する高齢者のほうが入会する若人より多くなっているのではと推察します。(匿名希望)

道しるべ「ロボカップ道しるべ：中型リーグ」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■興味深く読みました。資金不足は簡単には解決しない問題と思いますが、関係者の方のご尽力により緩和できることを願っています。(匿名希望)

■ロボカップで開発した技術を社会に還元する仕組みが必要である。(匿名希望)

解説「省メモリのための新たなアルゴリズム設計技法：制限された作業用メモリでアルゴリズムをいかに設計するか(後編)」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■ためになるものと感じましたが、読み流すことは難しいため、じっくり味わいながら読んでみたいと思います。(匿名希望)

解説「制御系システムのセキュリティ」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■セキュリティに特に関係していなくても、制御系システムと人間系システムの共存の在り方を的確に解説されています。社会インフラに対するITサービスマネジメントのテーマで、本記事の洞察のようなものを含めた特集をされることを期待します。(宮入 勉)

教育コーナー「べた語義：産業技術系専門職大学院の認証評価：大学評価制度はどうあるべきか？」については、以下のようなお意見・ご感想をいただきました。

■通常の意味ではまともな評価はできない範囲のものだと思う。ただ、IT系の専門職大学院構想を10年ほど前に考え、カリキュラムも経営系の教員と議論し作成。最終的に、「ロースクールのような専門職大学院の規定はあるが、IT系にはまだないので」という意味の話で提案が不首尾に終わった経緯をはじめとして、IT系の専門職大学院に強い思い入れをしていた私の過去を思い出しながら読むと、まだまだ不十分と思う。この種の機関に評価の仕組みは必要だと思うが、現在のJABEE的なものでよいかとなると別問題で、むしろ著者の中にもおられるJABEEの中心分野の方にお考えいただきたい。実際に、ロースクールなら、JABEEの評価と言わなくても、司法試験の合格者で評価は決まるだろう。同様のものは医学部で、国家試験合格が最大の使命なので、他の評価はどうでもいいことになる。工学系でのJABEEは、元々は欧米からの移入物であることも左右してだろうが、技術士試験の試験免除くらいで、大学教育にとってのメリットが少ない。情報系においても、JABEE審査合格のコースの卒業生が、それではしかるべきIT系企業に就職して活躍しているかという、そうでもない。この課題を産学間できっちり練り上げるのが先決ではないだろうかと思う。余談的に気になったのは、表-1の中の「東京大学の原子力専攻」

である。ここでの JABEE 認定は、結局は東京電力・経産省・文科省の癒着を強めて、今問題視されている政府の施策を裏付けることになったのでは?と危惧している。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:障害者職業訓練校の情報教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■障害者教育の問題は、非常に重要なので関心を持って読んだ。内容的には色々コメントしたいこともあるが、まず、この種の記事を掲載し、広く世の中へ問いかける第一歩として評価したい。特に、末尾の段落にあるが、障害者雇用に関して企業への理解を求めることは非常に重要だと思う。最近ではメンタル面での課題が多いので、身体障害者以外の問題も重要だと思う。キーボード操作等の問題も多いだろうが、現在の状況では、特に身体障害者の方には、プログラミング能力や文書作成能力に長けた方が多いので、たとえば、マニュアルライティング等の分野のコースも増やされるといいのかなと感じた。(匿名希望)

コラム「"I" 見聞録: ICC 2011 と Future Network & Mobile Summit 2011」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■国際会議の報告だが、よくまとまっていてよかった。今後の国際会議報告のサンプルの1つとしてもいいように思った。おかげで、記事とテーマから内容は十分に理解できるレベルになっている。欧州の方の「欧州において我々はネットワークの研究をまだ必要としているのか?」「未来インターネット:天国への階段か?」の2つの特別セッションの内容には強い興味を覚える。別の場所でも公開してほしい。文末にある「日本の研究のレベルアップと論文の質向上を図っていく必要」にはまったく同感で、このような取組みを学会も意識してほしい。(匿名希望)

解説「標準化が企業を活かす」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■自己満足と PR 記事にしか思えなかった。(平林健二)

■オーディオ研究者から見た標準化、興味深かったです。具体的なことで書けない部分があるにしても、内側の立場での解決できない苦慮も見え隠れするよう考えさせられます。標準化されたものがどれくらいの寿命を持つのか、専門外ではよく分からないので少し解説していただくと理解が深まったかもしれません。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■開発現場寄りの記事、たとえば、アーキテクチャ設計の方法、そのためのアーキテクトの育成などの記事または特集をお願いします。(五味 弘)

■シニアコラムや教育コーナーで紹介された ISECON のような、あまり知られていないが問題意識の高いもの、情報共有すべきものに対してもっとページを割いて積極的に取り上げてほしい。(森下 孟)

■ Bluetooth 技術の活用シーン。(匿名希望)

■最近、情報セキュリティを脅かす攻撃が多発しているように感じます。企業または個人としてどのような対策が必要(有効)かセキュリティ専門家の意見を取り上げていただきたいと思います。(匿名希望)

■ Apple のジョブズ氏が情報処理(?)に与えた影響について取り上げてほしい。テレビや雑誌で多くの特集があるが、学会誌としての取り上げ方を考えてはどうか。(匿名希望)

【本欄担当 横山昌平、成見 哲/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限のため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-GI.html	2月20日(月)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-EMB.html	2月20日(月)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
	東海支部平成23年度学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(木)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-CE.html	3月19日(月)		
	論文誌「情報通信社会の新潮流をつくるモバイル通信と高度高速システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MBL.html	3月31日(土)		
	論文誌「より豊かで安心・安全な社会を実現するためのコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-GN.html	4月9日(月)		
	論文誌「使うシステムから使えるシステムへ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IS.html	4月16日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-DPS.html	5月7日(月)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html	5月31日(木)		
1月19日(木)～	第180回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim180.html		当日のみ	大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス
1月20日(金)				
1月19日(木)～	第146回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci146.html		当日のみ	国立民族学博物館 (みんぱく)2階会議室
1月20日(金)				
1月19日(木)～	第190回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc190.html	11月11日(金)	当日のみ	電気通信大学
1月20日(金)				
1月19日(木)～	第82回グループウェアとネットワークサービス・ 第3回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn82cds3.html	11月18日(金)		かんぼの宿 熱海
1月20日(金)				
1月19日(木)～	ウィンターワークショップ2012・イン・琵琶湖 http://www.fse.cs.ritsumei.ac.jp/ww2012/	12月16日(日)		琵琶湖コンファレンス センター
1月20日(金)				
1月20日(金)	高度交通システム(ITS)2012シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its2012.html	1月12日(木)	定員になり次第	日本科学未来館
1月20日(金)	第84回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd84.html	11月25日(金)	当日のみ	芝蘭会館別館 (京都市左京区)
1月20日(金)～	第105回情報基礎とアクセス技術・第205回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat105nl205.html		当日のみ	福岡大学
1月21日(土)				
1月23日(月)～	第87回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro87.html	11月18日(金)	当日のみ	久米島町イーブ 情報プラザ
1月24日(火)				
1月24日(火)～	2012年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム(HPCS2012) http://hpcs.hpcc.jp/			名古屋大学 豊田講堂
1月26日(木)				
1月25日(水)	連続セミナー2011第5回「通信、放送、ITの連携による新たな コンシューマサービスの出現」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
1月25日(水)～	第154回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm154.html	11月1日(火)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月26日(木)				
1月27日(金)～	第93回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch93.html	11月28日(月)	当日のみ	奄美市立奄美博物館
1月29日(日)				
1月28日(土)	第138回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all138.html	11月24日(木)	当日のみ	流通科学大学
2月1日(水)	ソフトウェアジャパン2012「CIOは決断する」 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2012/		1月23日(月) 定員になり次第	タワーホール船堀
2月3日(金)～	第94回音楽情報科学・第90回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus94slp90.html	12月2日(金)	当日可 合宿形式の開 催となります	館山寺温泉 ホテルウエルシーズ 浜名湖
2月4日(土)				
2月4日(土)～	第113回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE113.html	12月20日(火)	当日のみ	三重大学 (三重県津市)
2月5日(日)				
2月7日(火)～	第146回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg146.html	11月30日(水)	当日のみ	東京大学駒場キャンパ ス18号館ホール
2月8日(水)				
2月10日(金)	第55回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip55.html	12月16日(金)	当日のみ	追手門学院大阪城 スクエア
2月17日(金)	連続セミナー2011第6回「センサ、デバイスによる新たな 情報と高度交通システム」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月23日(木)～	第76回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm76.html	12月19日(月)	当日のみ	早稲田大学西早稲田 キャンパス
2月24日(金)				
2月29日(水)～	第150回マルチメディア通信と分散処理・ 第56回 コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps150csec56.html	1月6日(金)	当日のみ	横浜市開港記念会館
3月1日(木)				

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月1日(木)～ 3月2日(金)	第87回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps87.html	1月5日(木)	当日のみ	指宿市 市民会館
3月2日(金)	第27回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi27.html	1月10日(火)	当日のみ	東京農工大学小金井 キャンパス
3月2日(金)～ 3月3日(土)	第155回システムLSI設計技術・ 第24回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2012) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm155emb24.html	1月16日(月)	当日のみ	ホテル松島大観荘
3月6日(火)～ 3月8日(木)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html		2月17日(金)	名古屋工業大学
3月11日(日)～ 3月13日(火)	第166回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics166.html		当日のみ	北海道定山溪
3月12日(月)～ 3月13日(火)	第61回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第33回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl61ubi33.html	1月6日(金)	当日のみ	情報通信研究機構 (NICT) 本部
3月14日(水)	第139回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al139.html	1月11日(水)	当日のみ	信州大学 松本キャンパス
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第8回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html		定員になり次第	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第119回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is119.html	1月5日(木)	当日のみ	専修大学
3月15日(木)～ 3月16日(金)	インタラクション2012 http://www.interaction-ipsj.org/2012/index.html	11月11日(金)		日本科学未来館
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第181回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim181.html	1月11日(水)	当日のみ	東京工業大学
3月21日(水)	第167回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics167.html		当日のみ	名古屋大学
3月21日(水)～ 3月22日(木)	第147回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci147.html		当日のみ	JAIST 東京サテライト (品川)
3月21日(水)～ 3月22日(木)	第83回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn83.html	1月20日(金)	当日のみ	電気通信大学
3月26日(月)～ 3月27日(火)	第23回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec23.html	1月31日(火)	当日のみ	ポートアイランド 臨床研究情報センター
5月23日(水)～ 5月25日(金)	The Sixth International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2012) http://www.icmu.org/icmu2012/			沖縄
7月16日(月)～ 7月20日(金)	The 2012 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012) http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/			トルコ (イズミール)
8月27日(月)～ 8月29日(水)	CollabTech2012 6th International Conference on Collaboration Technologies http://www.collabtech.org/			北海道大学国際 交流会館
9月4日(火)～ 9月6日(木)	FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/			法政大学 小金井キャンパス
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.1)
- 12月15日 2012年就職情報を公開しました
- 12月13日 震災復興デザインコンテスト募集要領: 締切延長 1月10日
- 12月07日 デジタルプラクティス「情報が観光を創る・磨く・鍛える(仮)」特集論文募集
- 12月01日 論文誌「使うシステムから使えるシステムへ」特集論文募集
- 12月01日 論文誌「より豊かで安心・安全な社会を実現するためのコラボレーション技術とネットワークサービス」特集論文募集
- 12月01日 論文誌「エージェントの理論とその応用」特集論文募集
- 11月30日 2011年度喜安記念特別賞候補者推薦募集: 締切延長 12月16日まで
- 11月30日 2011年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集: 募集中
- 11月28日 英文サイトをリニューアルしました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■筑波大学システム情報系 (システム情報工学研究科)

- 募集人員** 助教 (テニュアトラック) 1 名
所 属 リスク工学専攻
専門分野 情報セキュリティ分野 (暗号理論・実装, サイバーセキュリティ)
応募資格 博士または Ph.D の学位 (着任時期までに取得見込みも可) を有し, 上記分野において研究業績があり, リスク工学専攻において先端的暗号関係の教育, 情報科学類において基礎的情報セキュリティの教育を担当できること。関連組織の詳細は Web ページ (リスク工学専攻 <http://www.risk.tsukuba.ac.jp>, 情報科学類 <http://www.coins.tsukuba.ac.jp>) を参照
着任時期 2012 年 4 月 1 日あるいはそれ以降のできるだけ早い時期
提出書類 (1) 履歴書 (記名捺印, 連絡先と E-mail アドレスを明記), (2) 研究業績リスト (A4 用紙に最新のものから古い順に査読付き学術雑誌論文, 査読付きプロシーディング, 総説・解説, 招待講演, 取得特許, 外部資金の獲得実績 (科研費, 研究財団助成等, 代表・分担の別, 研究課題名, 交付金額とその時期等), 各種受賞等, に分けて記載。共著者名はすべて記入), (3) 教育・実技・実務等業績リスト (書式自由, 所属学会, 役員経験等を含め A4 用紙 2 ページ程度), (4) 教育・研究に対する抱負と自己アピール (1500 字程度), (5) 主要論文別刷 (5 編以内, コピー可, 研究業績リスト中で当該論文にマーク), (6) 意見を求め得る方 2 名の氏名・所属・連絡先
応募締切 2012 年 1 月 31 日
送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学大学院システム情報工学研究科 リスク工学専攻長 岡本栄司
E-mail:okamoto[at]risk.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5277
「教員応募書類在中」と朱書 *応募書類は返却いたしません。当方にて責任を持って処分します
そ の 他 任期はテニュアトラック制度により 5 年。テニュア獲得審査を経て任期を定めない職に移行可能です。詳細は Web ページ (http://www.tsukuba.ac.jp/public/ho_kisoku/s-02/2007hkt08.pdf) をご覧ください

■筑波大学システム情報系 (システム情報工学研究科)

- 募集人員** 助教 (テニュアトラック) 4 名 (下記分野 (A), (B), (C), (D) 各 1 名)
所 属 システム情報系 (システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻)
専門分野 (A) ソフトウェアサイエンス分野またはネットワーク分野, (B) Web・情報通信メディア分野, (C) 数理情報工学分野, (D) 知能情報メディア分野
担当科目 大学院 (システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻) と学類 (上記分野ごとの担当学類は, (A) 情報科学類, (B, C) 情報メディア創成学類, (D) 国際総合学類) における教育, ならびに専門分野における研究
応募資格 博士の学位 (着任時期までに取得見込みも可) を有し, 専門分野において研究業績があり, 大学院・学類教育を意欲的に担当できる方
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 応募分野 (上記 (A), (B), (C), (D) 4 分野の中から応募分野を選択。最大 2 分野まで選択可), 履歴書 (連絡先と E-mail アドレスを明記), 専門分野を表すキーワード (3 ~ 5 個), 教育・研究等の実績 (1500 字程度), 研究業績リスト (学術論文, 国際会議論文, 著書, 解説, その他の研究発表, 特許, 受賞, 外部資金獲得実績等に分類したリスト。論文等の共著者名はすべて記入), 主要論文別刷 (5 編以内, コピー可, 研究業績リスト中で当該論文にマークをすること), 教育・研究に対する抱負と自己アピール (1500 字程度), 意見を求め得る方 2 名の氏名・所属・連絡先
応募締切 2012 年 2 月 3 日 (必着)
送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻長 北川博之 E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5522
そ の 他 着任時から 5 年以内にテニュア審査が行われ, テニュアが取得できた場合は, 任期付きではなくなります。詳細は Web ページ (<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/information/position-20120203.pdf>) をご覧ください

■広島大学大学院工学研究院情報部門

募集人員 准教授 1名
 専門分野 人の学習活動を活性化するソフトウェアシステムに関する研究分野。具体的には、インタラクティブシステム(知的CAI, ITS, CSCL, eLearning, 発想支援システム, 知的インタフェースなど), 知識工学(知識マネジメント, オントロジ, セマンティックWebなど), マルチメディア応用(仮想現実感, 拡張現実感, 実世界指向インタフェースなど)などを含む
 担当科目 大学院: データベース工学特論, 学部: プログラミング序説(C言語), プログラミング演習(C言語)など
 応募資格 博士の学位を有し, 当該専門分野での十分な業績があり, 上記の科目が担当でき, 大学院(博士課程後期)の担当ができること
 着任時期 2012年10月1日, またはそれ以降のできるだけ早い時期
 応募締切 2012年3月29日(必着)
 照会先 工学研究院情報部門 教授 平嶋 宗 E-mail:tsukasa@isl.hiroshima-u.ac.jp
 その他 詳細はWebページ(http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/saiyo_syusyoku/kyoinkobo/index.html)をご覧ください

■法政大学情報科学部デジタルメディア学科

募集人員 教授または准教授 いずれか1名
 専門分野 情報科学, 情報工学
 担当科目 コンピュータグラフィクスなど
 応募資格 博士の学位を有し, 専門分野での研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 2012年9月1日
 提出書類 (1)履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), (2)研究業績リスト(学術論文(査読付き専門誌論文, 国際会議論文), 著書・総説・解説・研究報告, 学位論文, 特許, 受賞歴, 研究助成などの取得実績), (3)主要論文別刷(3編, コピー可), (4)これまでの研究概要(A4用紙1000字程度), (5)着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙1000字程度), (6)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先
 応募締切 2012年3月31日(必着)
 送付先/照会先 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学情報科学部 学部長 花泉 弘
 E-mail:hana@hosei.ac.jp Tel(042)387-4558 「教員応募書類」と朱書き書留
 その他 詳細はWebページ(<http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>)をご覧ください

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教 1名(任期付き・再任制度あり)
 所 属 計算機システム・ネットワーク領域
 専門分野/関連する職務 集積システム分野(計算機システム・情報機器の中核構成要素である集積回路についての回路・システム論。具体的には, 大規模集積回路やSoCのための回路・システム理論, 解析・シミュレーション, 設計方法, 最適化手法, EDAシステム開発, 検証, テスト等の研究分野)および計算機システム, 集積回路に関連する導入的講義, ゼミ指導など
 応募資格 採用時に博士の学位を有する方で, 大学院大学である本学の理念(本学Webページ参照)を理解し, 国際性・学際性に富み, 今後の上記分野の研究および教育の発展のために熱意を有する方
 着任時期 2012年9月1日以降できる限り早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(国際論文誌, 査読付き国際会議, 国内論文誌, 研究会・国内シンポジウム等の発表論文, 著書, 特許, その他に区別し, 新しいものから順番に列記), 主要論文別刷(3編, コピー可), 主たる研究概要*, 研究・教育に関連するその他の活動(学術雑誌の編集委員, 国際会議のプログラム委員等学術的貢献や標準化等の社会貢献など, また, 受賞, 研究費調達状況など選考の参考になる事項, 過去に担当した講義等), 今後5年間の研究計画*, 教育に対する抱負*, 応募者本人の連絡先(郵便宛先とE-mailアドレス), 推薦書2通, または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレス)
 ※はいずれも2000字程度
 応募締切 2012年4月20日(必着)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科長 赤木正人
 E-mail:akagi@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1155(研究科長秘書) Fax(0761)51-1149(研究科共通事務室)
 「教員応募書類在中(計算機システム・ネットワーク領域・助教)」と朱書き簡易書留 *E-mailにより提出された書類は受け付けません
 その他 JAISTは, 教員の選考に際して機会均等, 多様性が重要と考え, 女性や外国人の採用を積極的に進めています
 その他本学に関する情報については, Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>, <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubou/index-jp3.htm>)をご覧ください

■東京農工大学大学院工学研究院先端電気電子部門通信システム工学分野

- 募集人員 准教授 1名
専門分野 通信システム工学一般, 次世代モバイル通信, コグニティブ無線などの分野において研究業績のある方
担当科目 学部・大学院で電気電子工学分野の教育および研究指導
応募資格 博士の学位を有し, 40歳程度までの方
着任時期 2012年10月1日が望ましい
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度, 各1部, コピー可), これまでの研究経過と着任後の研究計画(A4用紙1枚程度), 教育研究に対する抱負(教育歴等を含む, A4用紙1枚程度)
応募締切 2012年5月31日(必着)
送付先/照会先 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学大学院工学部電気電子工学科 鈴木康夫
E-mail:ysuzuki-@cc.tuat.ac.jp (ysuzukiの後のハイフン“-”を忘れずに) Tel(042)388-7917
「教員応募書類」と朱書し(簡易)書留 *応募書類は原則として返却いたしません
その他 お問合せにはできるだけE-mailをお使いください





FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム

査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2012年9月4日（火）～6日（木）
会 場：法政大学（東京都小金井市梶野町3-7-2）

FIT2012 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

査読付き論文 受付期間(予定)：2012年3月 7日（水）～4月18日（水）
一般論文 受付期間(予定)：2012年4月25日（水）～5月24日（木）

- ◆論文ページ数：2～8ページ程度
- ◆講演時間：20分
- ◆3ページ目以降はエキストラページ料金（3,000円／ページ）が必要です。

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催致します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程（予定）※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文（4～8 ページ程度または6～8 ページ程度）

登録申込/投稿受付開始：2012年3月 7日（水）
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切
：2012年4月18日（水）
査読の採否結果通知：2012年6月20日（水）
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2012年6月22日（金）
最終掲載原稿締切：2012年7月 2日（月）

■一般論文（2～8 ページ程度）

登録申込/投稿受付開始：2012年4月25日（水）
登録申込締切：2012年5月24日（木）
最終掲載原稿締切：2012年7月 2日（月）

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2012Webページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2012Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文（4～8 ページ程度）

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞 3 件程度、FIT 論文賞 7 件程度を選定し、表彰式(FIT2012 会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金 20 万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金 5 万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文で発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●論文誌への道！ 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度（6～8 ページ程度）

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月末ごろに推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●一般論文（2～8 ページ程度）

当該 FIT での発表件数の 1.5%を上限として、2012年12月31日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文および一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金 3 万円)として次回 FIT2013 の表彰式で贈呈します。

●問合せ先（FIT2012幹事学会）

105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 101 号室
社団法人 電子情報通信学会 集会事業部 TEL. [03] 3433-6691 FAX. [03] 3433-6659 E-mail:ieicefit@ieice.org

CONTENTS

Preface

Need for Building an ICT-based Robust Social Architecture
Hiroichi KAWASHIMA (Special Advisor The Gov. of Saga, Japan)

Series : Shigeki Hosokawa Smartphone Apps Development Project

98 Project Starting
Yasushi ANZO (Freelance Journalist for IT and Consumer Electronics)

Special Features

Game Informatics

- 100 0. Foreword
Tetsuro TANAKA (The Univ. of Tokyo)
- 102 1. Is Game Informatics Left Out in Japan Now?
Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)
- 107 2. Studies on Puzzles in Game Informatics
Yoshiyuki KOTANI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 112 3. Incomplete Information Games
Tetsuro NISHINO (The Univ. of Electro-Communications)
- 118 4. Usage of Information at Gambling
Ichiro TANIOKA (Osaka Univ. of Commerce)
- 126 5. Contemporary Computer Shogi (2011-2012)
Takenobu TAKIZAWA (Waseda Univ.)
- 133 6. The Present Situation of Computer Go
Masakazu MURAMATSU (The Univ. of Electro-Communications)
- 139 7. Solving Two-Player Games
Akihiro KISHIMOTO (Tokyo Institute of Technology / Japan Science and Technology Agency)
- 146 8. The Role of "AI" in Digital Games
Masanobu ENDOH (MOBILE & GAME STUDIO Inc.)

Articles

- 154 Imagine Cup Challenge 2 - Essentials -
Kotaro NAKAYAMA (The Univ. of Tokyo)
- 162 A Teaching Material of Architecture Education in a Dialog Style
Nobuki TOKURA (Osaka Electro-Communication Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 153 A Half Century Living with Computer : An Everlasting Dream – Construction of Intelligent Information Media Environment –
Katsuo IKEDA

"Peta-gogy" for Future

- 171 Comparing Syllabuses
Teruo HIKITA (Meiji Univ.)
- 172 Toward a Lecture Inspiring Students to Self Study
Nobuki TOKURA (Osaka Electro-Communication Univ.)
- 175 Quality Assurance of College Level Education through JABEE (2nd) : Seoul Accord and the Program Criteria for Computing
Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)
- 180 In Visit of Kobo-daishi (1) - Originally No Possession
Toshihiko KOTOH (Reliability Engineering Association of Japan)

Column : "I" Report

- 182 NIAT2011 / FDTC2011 / CHES2011
Hirofumi SAKANE (NIST / Advance Industrial Science and Technology (AIST)), Tetsuya IZU (Fujitsu Labs. Ltd.), Atsuo INOMATA (Nara Institute of Science and Technology (NAIST))

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続 세미나, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

ご意見をお寄せください!

【2月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2012年2月号) の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム: 大きな社会システムのアーキテクチャ再構築を 10-1- []
細川茂樹 アプリ開発プロジェクト: 第1回 プロジェクト始動 10-2- []
特集: ゲーム情報学
1. ゲーム情報学の現在 10-3- []
2. ゲーム情報学におけるパズル研究 10-4- []
3. 不完全情報ゲーム 10-5- []
4. ギャンブルの情報学 10-6- []
5. 将棋 10-7- []
6. コンピュータ囲碁の現状 10-8- []
7. その他の2人ゲーム 10-9- []
8. デジタルゲームにおける "AI" の役割 10-10- []
IT好き放題: コンピュータとともに半世紀 見果てぬ夢「知能情報メディア環境の構築」 10-11- []
Imagine Cup チャレンジ 10-12- []
対話で教えるコンピュータアーキテクチャ 10-13- []
べた語義: コラム: 各大学のシラバスを比較してみると 10-14- []
べた語義: 考える講義を目指して 10-15- []
べた語義: JABEE を通じた大学教育の質的保証 (後編): ソウル協定と情報分野の分野別要件 10-16- []
べた語義: 特別コラム: お大師様を訪ねて (1) 本来無一物 10-17- []
"I" 見聞録: NIAT2011 / FDTC2011 / CHES2011 10-18- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
〔11-1〕良かった記事 11-1- []
〔11-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
〔11-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-3- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
〔12-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 12-3- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に記入ください)
- (13) 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。
〔13-1〕ゲーム情報学: a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
- (14) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。
- (15) 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

本会誌ではコンピュータ将棋の特集記事、コンピュータ囲碁などの個々のゲームに関する研究の解説など、定期的にゲーム情報学関係の記事を掲載し、ご好評をいただいておりますが、ゲーム情報学全体を対象とした特集は2003年9月号以来となります。前回の特集から8年間経過する間にゲーム情報学が情報処理学会内の一分野として十分認知されるようになり、研究も

充実してきた様子は、各記事を読んでいただければ分かっていただけると思います。

この特集は企画から掲載まで通常よりも短時間だったため、著者の皆様には負担をかけてしまいました。著者の皆様ならびに事務局の皆様には改めてお礼を申し上げます。

(田中哲朗/本特集エディタ)

次号(3月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」不自然言語処理～枠に収まらない「リアルな」言語処理～

顔文字処理—取るに足らない表現をコンピュータに理解させるに足るには—/新しい語・崩れた表記の処理/なんで日本語はこんなに難しいなの?—リアルな日本語学習者コーパスの分析と言語処理の課題—/英語学習支援—誤り自動校正手法とその応用—/日本語学習児の初期語彙発達/Twitterからの情報抽出—感染症情報と被災文化財情報を例にして—/ANPL/NLP—NLP技術を応用した震災時安否情報確認支援—

「特集」研究会推薦博士論文速報

連 載：細川茂樹 アプリ開発プロジェクト

教育コーナー：ぺた語義

コラム：“I” 見聞録/巻頭コラム/シニアコラム：IT好き放題

学会活動報告：IFIP 近況報告

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」53巻2号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表2 日立製作所……………表4
 オーム社……………表2対向
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

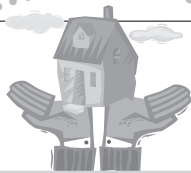
TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社ヘリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp